

農学部 (R6. 7. 1)

○ディプロマ・ポリシー

農学部は、全学の学位授与方針及び農学部の教育目標に鑑み、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

1. グローバルな視点を持ち地域の農林業及び食品・生命科学関連産業を取り巻く様々な課題に積極性・主体性・協調性をもって果敢に取り組むことができる能力。
2. 農林業及び食品・生命科学関連産業に関する専門的な知識を有し、多様なコミュニケーション能力を備え、他者と協働する能力。
3. 関連産業が直面する課題を俯瞰的に捉え、専門知識と先進技術を駆使し、持続可能な農林業及び食品・生命科学関連産業の発展、地域社会の課題解決に貢献することができる能力。

○カリキュラム・ポリシー

農学部の学位授与の方針に沿った人材を養成するために、以下に示す方針に基づいて、初年次から卒業まで系統性のある教育課程を編成

1. 初年次から卒業まで系統性のある教育課程の編成

- ① 1年次では、共通教育科目を中心に履修させ、幅広い教養を身に付けることを目指し、フィールド基礎実習や産業体験をはじめとする、農学専門領域の学修動機付けへの寄与を目的とした導入的な科目を配置します。
- ② 1年次から2年次にかけてプログラム分けを行い、プログラムごとの特色ある講義科目により、基礎的な理解度を向上させる教育を行います。
- ③ 2年次から3年次にかけて、応用的な専門教育を行うために、指導教員への配属を行います。
充実した卒業研究を遂行するために、本学部の特徴であるフィールドトレーニング（実験、実習）により、実践力の向上をめざす科目を配置します。
- ④ 3年次から4年次にかけて、教員による、より密接な指導や学生間のコミュニケーションと相互指導により課題に取り組みながら、問題解決能力を養う科目を配置します。
- ⑤ 学生本人が主体的かつ積極的に自身の進路や将来目標の達成を見据えたカリキュラムを編成できるように、1年次から2年次にかけてキャリア教育科目を配置します。修学中は定期的にキャリアマップの作成・修正と学修の振り返りを行い、常に学修意義を認識できる教育を行います。
- ⑥ 将来の進路や取得を目指す資格への関連性の認識を容易とするための科目グループ（モジュール）を明示し、円滑な学修計画の策定を促す教育を行います。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

○アドミッション・ポリシー

<農学部の教育目標>

多様な自然環境と生物資源に恵まれた鹿児島県の地域特性を活かした主体性重視の実践教育及び分野横断型農学DX教育により、我が国の持続可能な農林食産業の発展と地域の課題解決に農学総合力と専門性を持って果敢に取り組み、新時代を自ら切り拓くことができる人材の育成を目標とします。

<入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）>

1. 求める人材像

農学部は、次のような学生を国内外から広く求めています。

- ・ 農学関連分野に強い関心を持ち、将来これらの分野で活躍を目指す意欲のある人
- ・ 自然科学の幅広い知識と英語の基礎的な学力を備え、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
- ・ フィールドや生産現場での技術・研究に強い関心を持ち、農林業及び食品生命科学に関する実務・実技能力の向上を目指す人
- ・ 多様で持続的な社会の構築に参画し、地域社会、国際社会に貢献することを目指す人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、情報などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科、英語の高い知識・能力を身につけていることが望ましいです。

3. 入学者選抜の基本方針

- ・ 一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストに加え、個別学力検査を課し、自然科学の幅広い知識と英語の基礎学力、思考力及び高等学校の調査書を評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テスト成績による幅広い学力の確認に加えて、小論文形式によって、理論的思考力、記述・表現力、及び高等学校の調査書を評価し、総合的に選抜します。

- ・ 学校推薦型選抜Ⅰでは、農学関連分野への意欲と勉学・研究への潜在能力が高い学生及び多様な社会の構築に関心の高い学生を受け入れるため、小論文、面接又はプレゼンテーションに基づいて総合判定し選抜します。
- ・ 学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストの成績による幅広い学力の確認に加えて、高等学校の調査書と志望理由書を評価し、総合的に選抜します。
- ・ 自己推薦型選抜では、大学入学共通テストに加え、講義型試験と面接を課し、思考力・判断力・理解力及び文章での表現力などを評価し選抜します。
- ・ 私費外国人学部留学生選抜では、日本留学試験、面接及び英語能力を総合的に評価して選抜します。
- ・ 国際バカロレア選抜では、コミュニケーション能力や論理的思考力、課題発見・解決能力などの資質を備えていると考えられる国際バカロレア資格取得者に対し、書類審査及び面接を行い総合判定して選抜します。